

更新

事業者名

株式会社イノP

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

イノシシ等の捕獲・利用を進め有害鳥獣による農作物被害を削減するとともに、野生鳥獣と人とのゾーニングにより接触機会を減少させることで、住み続けられる農村づくりを推進する。また、人による管理が行われなくなったことで損なわれた生物多様性を、人による管理を復活させることで再生させる。これらの取組においては、地域内外の多様な主体との連携をさらに推進する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	有害鳥獣による農作物被害の減少	イノシシ被害金額(宇城市) 32,830千円(R元年度) →25,762千円(R4年度)(現状) →23,185千円(R8年度)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	自治体等との連携による鳥獣対策の担い手育成	担い手育成事業や講演会等の実施 件数 50件(R5年度) →100件(R8年度)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	耕作放棄地の再生による野生鳥獣と人とのゾーニング	耕作放棄地の再生面積 5a(R5年度)(現状) →20a(R8年度)

<パートナーシップ>

自治体等との連携による鳥獣対策の担い手育成を実施する。また、地域内外の企業等と連携し、ジビエツーリズムや耕作放棄地の再生に取り組む。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	鳥獣対策による被害減少	宇城市獣類被害額 2019年 4,786万円 2023年 3,621万円	3,231万円 (2022年度)⇒減少 (2023年実績未公表: 宇城市による公表がないため。 2024年度末頃公表見込み)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	鳥獣対策や農家の担い手育成	2023年 実施	2023年 担い手育成事業や講演会等を 50件実施
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	ジビエツーリズムの開始	2021年 未実施 →2023年 実施	2022年 事業開始 済み

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。